

疲れた体を チアリーディングで応援

▶大技を決める滋賀学園高校チアリーディング部のメンバー。本校生徒からは感嘆の声が漏れていた。



▲本校の生徒たちは演技に合わせて手拍子をした。

滋賀学園高校チアリーディング部のリーダーである三輪綾乃さん（2年生）は「みんな

疲れた体を、チアリーディングで応援したい」と熱意をみせた。

「滋賀学園高校の演技を見てみると私たちはまだまだ努力が足りない」と実感した。一つひとつの細かい動きもしっかりしようと思った」と今後の活動に意欲を見せた。また「指導してくださった先生方や一緒に頑張ってきたメンバー、応援してくれるみなさんに感謝してその気持ちを表せるように頑張りたい」と熱意をみせた。

「滋賀学園高校の演技を見てみると私たちはまだまだ努力が足りない」と実感した。一つひとつの細かい動きもしっかりしようと思った」と今後の活動に意欲を見せた。また「指導してくださった先生方や一緒に頑張ってきたメンバー、応援してくれるみなさんに感謝してその気持ちを表せるように頑張りたい」と熱意をみせた。

チアリーダー代
表者の藤原穂香さん（2-4）は滋賀学園高校チアリーディング部の演技を見て「チアリーディング部のみんなは笑顔で大きな声を出していたのでさすがだなと思った。大技のときには全員の息が合っていて信頼し合っていることが伝わりすごかった」と感想を述べた。甲子園に向けての意気込みを「応援を引っ張っていき野球部の力になれるようにしたい。また常に笑顔で頑張りたい」と笑顔で話した。

「滋賀学園高校の演技を見てみると私たちはまだまだ努力が足りない」と実感した。一つひとつの細かい動きもしっかりしようと思った」と今後の活動に意欲を見せた。また「指導してくださった先生方や一緒に頑張ってきたメンバー、応援してくれるみなさんに感謝してその気持ちを表せるように頑張りたい」と熱意をみせた。

滋賀学園高校のチアリーダーの田井中萌依さん（3年生）は「演技をすることでみんなの元気が出たようでよかった」と感想を寄せた。教えるうえで「全員チアリーディング初心者で声や一つひとつの手の形を覚えるのが大変だった」と明かした。最後に田井中さんは「精一杯声を出して周りの人たちを巻き込めるような応援をしたい。みんなで頑張ります」と意気込みを話した。

滋賀学園高校のチアリーダーの田井中萌依さん（3年生）は「演技をすることでみんなの元気が出たようでよかった」と感想を寄せた。教えるうえで「全員チアリーディング初心者で声や一つひとつの手の形を覚えるのが大変だった」と明かした。最後に田井中さんは「精一杯声を出して周りの人たちを巻き込めるような応援をしたい。みんなで頑張ります」と意気込みを話した。

の雰囲気明るくなるように演技をした。演技の後、実際に雰囲気明るくなったように感じたのでよかった」と微笑んだ。また三輪さんは「教えるときに自分が間違えてしまったら東高の人たちも間違えて覚えてしまうので間違えないように気を付けた」と振り返った。最後に甲子園に向けて「自分の学校ではないが東高の一員になったつもりで頑張りたい」と意気込んだ。



▶大技を決める滋賀学園高校チアリーディング部



速報新聞
キマグレ
発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号



再び魂33
表者の藤原穂香さん（2-4）は滋賀学園高校チアリーディング部の演技を見て「チアリーディング部のみんなは笑顔で大きな声を出していたので